学校番号	3001

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新編　言語文化　改訂版」　（大修館書店）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典の時間では、有名な古典作品に親しむとともに、古文漢文の基本事項（歴史的仮名遣い、文語文法、訓点、訓読）を身に付けていきましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。
・板書を写すだけでなく、授業のポイントや自身で気付いたことを記録する力も培っていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	古文に親しむ ［教材］ いろは歌 『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 「十二の子文字」	a:・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:・作品の内容や形式について、古典の言葉の意味やきまりを踏まえて理解している。 ・登場人物の言動や話の展開から多様な価値観を読み取ろうとしている。 b[書]・作品に親しみ、丁寧な字で規定された時間、分量の書写ができる。 b[話/聞]:・作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。 ・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの批評や評論を発展させている。 c:・言語文化の担い手としてａやｂの学習活動に主体的に取り組み、その学びを発展させている。 ・古文の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に活かそうとしている。	・定期試験 ・プリント	・定期試験 ・プリント	・プリント ・ノート記述 ・授業態度
	随筆を楽しむ ［教材］ 『徒然草』 「仁和寺にある法師」 「奥山に猫またといふもの」 『枕草子』 「春はあけぼの」 「うつくしきもの」「にくきもの」	a:・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:・作品の内容や形式について、古典の言葉の意味やきまりを踏まえて理解している。 ・登場人物の言動や話の展開から多様な価値観を読み取ろうとしている。 b[書]・作品に親しみ、丁寧な字で規定された時間、分量の書写ができる。 b[話/聞]:・作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。 ・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの批評や評論を発展させている。 c:・言語文化の担い手としてａやｂの学習活動に主体的に取り組み、その学びを発展させている。 ・古文の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に活かそうとしている。	・定期試験 ・プリント	・定期試験 ・プリント	・プリント ・ノート記述 ・授業態度

2	物語の広がり ［教材］ 『伊勢物語』 「芥川」「筒井筒」	a:・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:・作品の内容や形式について、古典の言葉の意味やきまりを踏まえて理解している。 ・登場人物の言動や話の展開から多様な価値観を読み取ろうとしている。 b[書]・作品に親しみ、丁寧な字で規定された時間、分量の書写ができる。 b[話/聞]:・作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。 ・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの批評や評論を発展させている。 c:・言語文化の担い手としてａやｂの学習活動を主体的に取り組もうとし、その学びを発展させている。 ・古文の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に活かそうとしている。	・定期試験 ・プリント	・定期試験 ・プリント	・プリント ・ノート記述 ・授業態度
	旅への思い ［教材］ 『土佐日記』「門出」 『更級日記』「あこがれ」 『おくのほそ道』「旅立ち」	a:・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:・作品の内容や形式について、古典の言葉の意味やきまりを踏まえて理解している。 ・登場人物の言動や話の展開から多様な価値観を読み取ろうとしている。 b[書]・作品に親しみ、丁寧な字で規定された時間、分量の書写ができる。 b[話/聞]:・作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。 ・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの批評や評論を発展させている。 c:・言語文化の担い手としてａやｂの学習活動に主体的に取り組み、その学びを発展させている。 ・古文の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に活かそうとしている。	・定期試験 ・プリント	・定期試験 ・プリント	・プリント ・ノート記述 ・授業態度

3	漢文に親しむ 漢文を楽しむ ［教材］ 漢文入門 訓読の決まり 格言 『論語』 『十八史略』「鶏鳴狗盗」	a:・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・漢文を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、漢文特有の表現などについて理解している。 ・作品や文章の成立した歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。 b[読]:・内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を理解して、解釈している。 ・作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 b[書]・作品に親しみ、丁寧な字で規定された時間、分量の書写ができる。 b[話/聞]:・作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。 ・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの批評や評論を発展させている。 c: ・言語文化の担い手としてａやｂの学習活動に主体的に取り組み、発展させている。 ・漢文の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に活かそうとしている。	・定期試験 ・プリント	・定期試験 ・プリント	・プリント ・ノート記述 ・授業態度

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間